

## 第 11 回公正入札調査会議 議事概要

[日 時] 平成 29 年 1 月 24 日（火）16:00-17:30

[場 所] 中央合同庁舎第 3 号館 4 階幹部コーナ一会議室

[出席委員] 和泉澤座長、大橋委員、金本委員、郷原委員、長瀧委員、  
奈良委員、堀田委員、升田委員

[委員の主な意見]

- 国土交通省は、応札落札状況に関して、平均落札率・調査基準価格に着目してしっかりと見ているということ、業界に周知を図るべき。
- 各出先機関等において、年平均落札率の高止まりの傾向がみられる場合、合理的な説明を求め改善を図るなど、国民の理解の向上に努めるべき。
- 中部地方整備局発注工事にかかる不正事案については、個人的な事情が強いのか、あるいはシステム・制度の問題に関係するのか、原因の解明が非常に重要。まずは、その見極めをしっかりと行い、その上で再発防止対策の検討を進めていくべき。
- 高知談合以降、より公正な入札に向けて、研修をはじめ様々な取組を進めてきたと承知。今回の中部の事案をもって直ちにこれまでの取組がダメになるというものではない。やはり、こうした取組をメリハリや工夫を効かせながら、繰り返し進めていくことが重要。
- 中部地方整備局で検討を行っている再発防止対策のとりまとめ結果は、当会議にも報告すべき。

以 上